

多摩大学社会的投資研究所 開設 2 周年記念シンポジウム

「官民金ネットワークは地域を変える」

2021年 1 月25日

金融庁総合政策局総合政策課

地域課題解決支援チーム 菅野大志

金融庁 政策オープンラボ

- ✓ 若手職員を中心とした人材の育成・活用、組織の活性化
- ✓ 職員の新たな発想やアイデアを積極的に取り入れ、新規性・独自性のある政策立案へとつなげる
- ✓ **2割**の業務時間を政策オープンラボに充ててよい！
- ✓ **14**のプロジェクトチーム（約**120**名）

具体的な取組事例（例）

■ 資産形成をデザインする。

■ **金融庁ネットワークを活用した地域課題解決支援**

■ 子育て職員プロジェクト

■ 組織全体のTECH FORMINGに向けて

地域課題解決支援チーム立ち上げの目的

■ 目的：

地域における社会課題の解決

■ 想い：

- ・金融機関職員と公務員はもっと協働できるはず！そのサポートをしたい。
- ・「地域経済の維持・持続的な成長」という抽象的な目標に対して、金融機能が、職員がどのような役割を担うべきか、期待されているか地域における議論の場や異業種との対話を通じて学び、具体的な解決策を提案し、その経験やノウハウを各地に展開したい。

■ 地域で必要とされているもの：

- ・全国各地の地域活性化に想いのある個人（志）のネットワーク
- ・心理的安全性を確保した継続的なオフサイトミーティング（ダイアログ）

地域課題解決支援チームの具体的な取組事例の流れ

1 「ちいきん会」の開催

〔開催：年数回、規模：200～400人〕

- ・「ちいきん会」（地域×金融）
熱量の高い産学官金言の有志が肩書きを外して交流する場。
- 地域キーパーソンと有志のコミュニティ形成（約1,800名）



2 「ちいきん会 地域ダイアログ」の開催

〔開催：定期、規模：少人数〕



3 課題解決への企画・スキームの提案

4 地域ダイアログの自走化



有志の出会いの場「ちいきん会」の開催から「地域ダイアログ」へ

コンセプト

- ・ 熱意ある有志が集う交流会
 - ・ 心理的安全性を確保し、肩書を外し
 - ・ 仲間と自分事として地域課題を議論
- 【紹介制、休日、参加料、有志事務局】
【私服、役職無関係】
【官民金によるサークルセッション】

Facebook



ちいきん会の当日

① テーマピッチ



② セッション



③ 交流会



地域ダイアログの開催

④ 地域ダイアログ



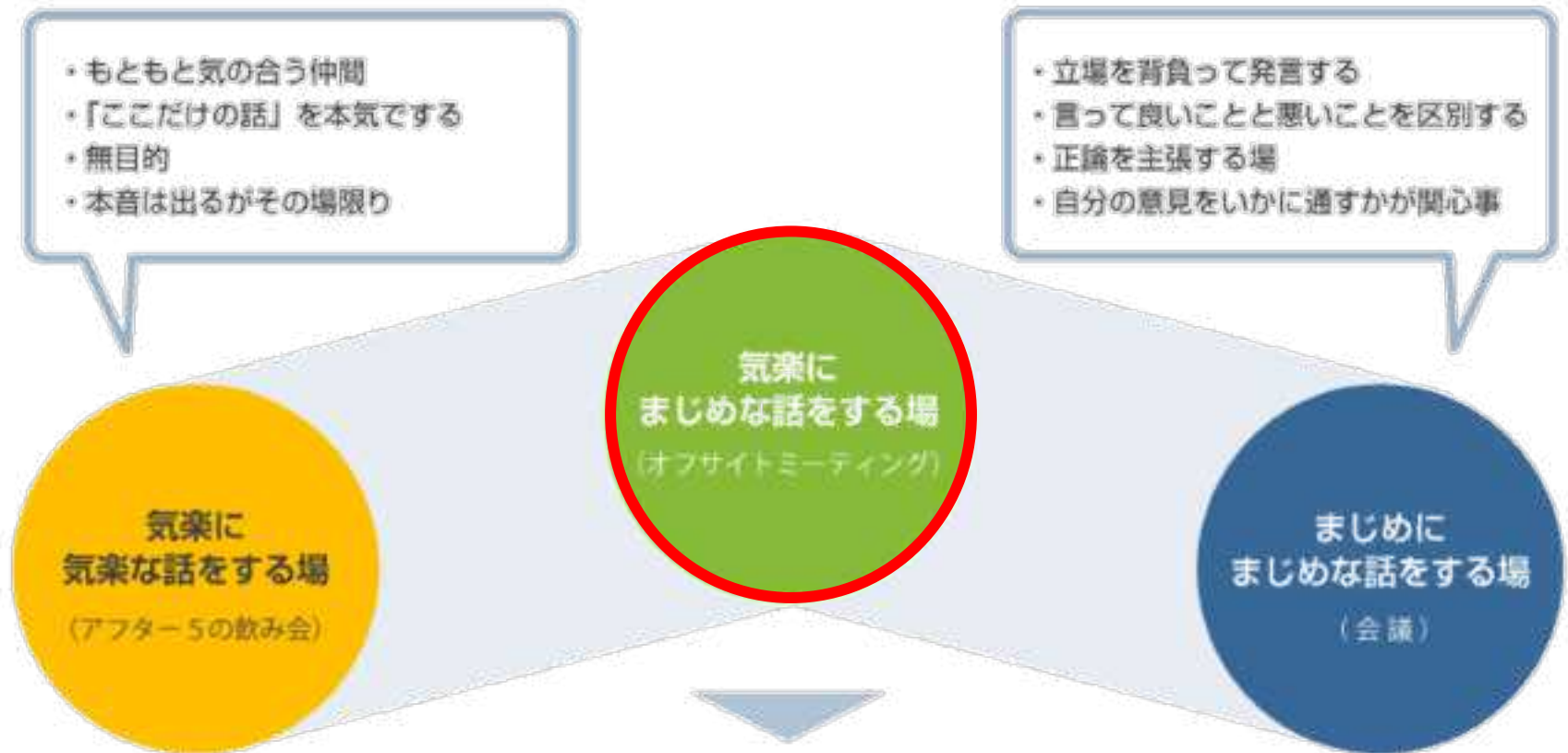
■ 個人として自由に参加でき、地域を考える場を提供

■ コロナ禍の対面での交流が難しい中、

1,800名のネットワークを活かして、地域ダイアログをサポート。



ダイアログの特徴



- 心理的安全性が確保された場（肩書きを外して）
- 熱量ある有志
- まじめに建設的な対話を行う

石川ダイアログについて ～特別保証認定プロセスの電子化～

(1) ちいきん会コミュニティからの実質無利子無担保融資手続きに関する課題提起

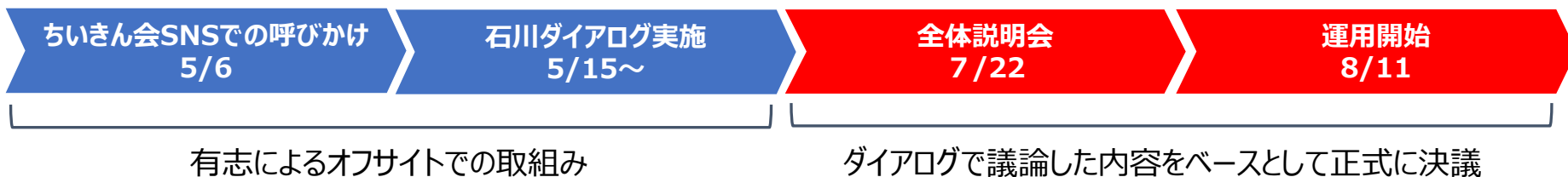
ちいきん会

コミュニティのSNSにて課題提起

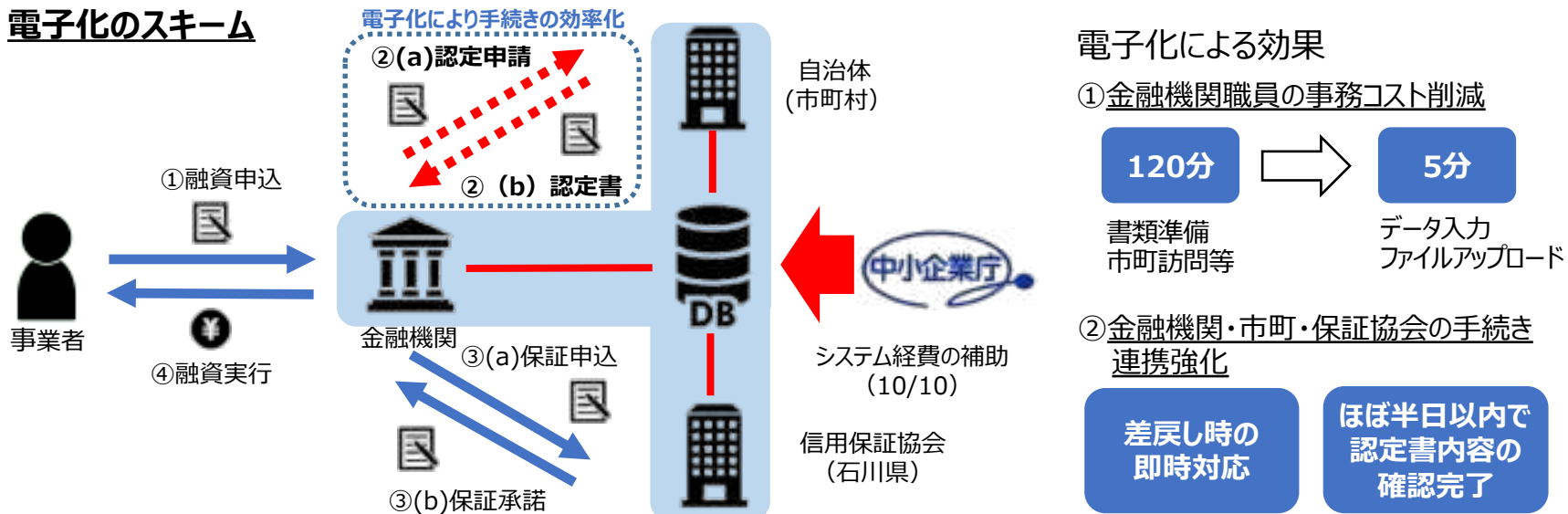
【共有された課題】

- ・ 売上減少認定認定申請のたびに自治体窓口を訪問する必要
- ・ 郵送手続き・認定手続きの進捗の問い合わせ等で多大な事務コスト発生
- ・ 自治体窓口にて、3密発生の懸念

(2) 石川県関係者の有志によるダイアログから運用まで



(3) 電子化のスキーム



熊本ダイアログについて ～起業・創業スキーム～

(1) ちいさん会から派生した「熊本ダイアログ」の活動

ちいさん会

平31年3月開催



熊本県の産学官金言**ネットワーク形成**
平日・就業後、ダイアログを実施



〔 ダイアログの様子 〕

(2) 課題解決への取組

- 「起業経験者の紹介」、「ワンストップ相談」等の支援メニューを提供する官金連携の仕組みを企画。
- 気軽に立ち寄ることができる書店で、起業希望者を勇気づける企画を開催。



〔 創業促進イベントの様子 〕

(3) 提案内容が、令和2年10月より本格稼働

【提案内容】

サービス名	「起業・創業ワンストップサービス」
採択先	熊本県中小企業経営支援連携会議 (事務局：熊本県信用保証協会)
利用開始	令和2年4月1日～
対象	事業計画作成前のアイデア段階の方 （「潜在的な」起業希望者）
内容	起業経験者を相談者のメンターとするほか、関係支援機関が様々な支援メニューをワンストップで提供



〔 熊本県知事に報告する様子 〕



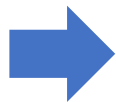
熊本県信用保証協会HPよりアクセス <https://www.kumamoto-cgc.or.jp>

東北ダイアログについて ～首都圏新現役の人材活用～

(1) 東北地方の課題をちいきん会で共有

ちいきん会

平31年3月、令元年6月開催



地域課題解決支援チームと東北関係者で**ダイアログ**を重ねる
東北地方の課題に**首都圏の人材活用方法**を提案

【課題】・人手不足 ・収益維持のために生産性向上

(2) 課題解決への取組

- 令和元年11月、5 省庁と東北の25金融機関とともに、新現役交流会の枠組みで共同企画。
- 面談形式に加えて、**ウェブ会議システム**を取り入れた「**新現役交流会2.0**」と名付け開催。



(現地面談の様子)



(テレビ電話による面談の様子)

(3) 取組の成果（マッチング結果）

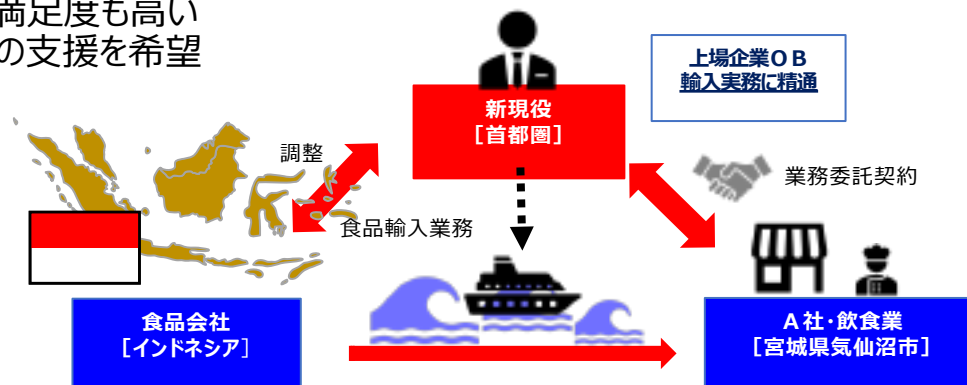
- 企業：ニーズに応じた経験豊富な人材を選べるため満足度も高い
- 結果：43社中36社（うちWEB 15社）が新現役の支援を希望

■ 32社のマッチングが成約



- **金融機関地方による
専門人材ニーズへの新たな手法を確立**

【マッチング事例】



霞が関と地域をつなぐ取組み 霞が関ダイアログ

(1) 地域課題解決支援チームには金融行政だけでは解決できない相談も

＜主な相談内容＞

- 申請可能な**補助事業**（他省庁）の有無
- **補助事業**の申請方法について
- **補助事業**に採択された事例の紹介

（２）省庁の施策を深く理解する「霞が関ダイアログ」

■ 次回の開催

 **2月 7日（日） しぞー会（静岡版ちいきん会）**
部活のススメ・ワーケーション先取り

🔥 2月18日（木） 北海道ダイアログ企画
副業人材活用に向けて

🔥 2月24日（水） 霞が関ダイアログ

🔥 2月26日（金） 神奈川・平塚ダイアログ

🔥 3月13日（土） ちいきん会

各地域の地域ダイアログの活動一斉紹介



ちいきん会 Facebook

